

土屋グループとクライアントをつなぐ月刊誌

広報

## 土づくり



## 私、新卒で働いています！

雇用施策ならびに福祉施策を利用して就業している石塚樹里さん。笑顔がとても可愛い樹里さんは、いつもニコニコしていませんか？樹里さんの現在をお送りします。

## ■山形で生まれて

娘はお尻の骨が外に突き出た形で生まれてきた「二分脊椎症」という障害です。生まれてすぐ手術しましたが、水頭症の合併症を起こし、その影響で小脳が喉の方に下がって呼吸もしづらくなってしまったので、1歳前に気管切開しました。5、6回手術を繰り返して1年ほど入院し、そこから在宅となりましたが、下半身に力が入らないので歩行は難しく、幼いころから車椅子を使用しています。今でいう「医療的ケア児」でした。

## ■独自のコミュニケーション

娘は比較的明るい子どもで、病院でも家でも歌を歌ったり本を見たり、普通の子と変わらないような生活をしてきました。声は出ないので笑ったりする感じが多いですが、気管切開した後に自分で喋ることを覚えたんです。舌を使って、「ちえちえ」と音を出す形で、自分なりに開発して喋ったり、歌ったりしています。喉を震わせないと音が出ないところは無音になってしまうんですけど、だいたい音を

## ■学校生活

地元で障害児を受け入れてくれる幼稚園があつて、週に2回そちらに通わせてもらい、あとの3日を障害児が通う幼稚園に行っていました。小学校からは養護学校に進み、年に2〜3回、本当は通うはずだった地域の小学校との交流で、友達と一緒に勉強していましたね。その養護学校に小学部、中学部、高等部と12年間在籍しました。学校ではミンシんで色々と制作したり、それをバザーで販売するなどもしていました。娘は細かい作業が好きなので、今でもそれが役に立っていて、ミンシんで直線縫いをして小物を作ったり、ビーズで動物を作ったりしています。いつもニコニコしているの、周りにたくさん人が集まってきてくれる感じで学園生活を送っていましたね。

## ■卒業後、就職へ

娘の同級生や卒業生は、卒業後は就職ではなく生活介護の事業所などに通う人が大半だったので、運が良ければ就職をと思っていましたが、チャンスに恵まれるかは分からない。ただ、5年前に主人の勤めている会社の会長から「将来は面倒を見る」という口約束を頂いていたんですね。当時は気にも留めていなかったんですけど、月日が経って、卒業後の娘の生活を考えていた時にふっとそれを思い出したんです。そこで社長にお伺いを立てたら、「いいんじゃないの」と、とんとん拍子で話が進み、今年の4月から正社員として那須建設株式会社に入社させていただきました。現在は総務部に所属し、週3日、在宅でパソコンを使用したデータ入力作業などをしています。



## &lt;プロフィール&gt;

名前:石塚樹里(18)

居住地:山形県長井市

障害名:二分脊椎による両上下肢機能障害、アーンルドキアリ奇形による呼吸器機能障害

出せるので、聞き取りにくいんですが長らく傍にいてもらえると分かってきますし、私たちと同じように会話しているので、口の動きは普通の人と変わらないんです。

## Q:学校生活の思い出は？

A:(樹里さん)私は高等部に入ってから生徒会長をしたんです。選挙に立候補して、みんなに投票してもらって、念願が叶いました。楽しい思い出がたくさんあります。

Q:高等部の頃、将来をどう考えていましたか？

A:(樹里さん)働いてみたいという希望がずっとありました。







■重度訪問介護の事業所とともに就労を

娘の介護は今までほぼ家族でしてきましたが、将来私たちがいなくなっても娘が一人で暮らしていける環境を作っていきたいという思いがずっとありました。そんな中で、那須建設の会長さんのかつての言葉を思い出すとともに、令和2年からスタートした「雇用施策との連携による重度障害者等就労支援特別事業」と独立行政法人高年齢・障害者求職者雇用支援機構(JHFD)の「重度訪問介護サービス利用者等職場介助成金」の存在を知り、娘の就職に向けての歩みを進めることができました。現在は長井市、那須建設、JHFD、土屋さんとの連携でこれらの制度を使いながら就労をしています。土屋さんには就労時間の8時から17時までずっと一緒にいて

Q: 仕事で大変なことは？

A: (樹里さん) 手が固まってくるので、毎日続けるとカーソルを扱ったり、キーボードにタッチするのが難しいです。

Q: 仕事で楽しいことや、やりがい

A: (樹里さん) 土屋さんの方とお話ししたりして、ほのぼのと仕事できるのが楽しいです。仕事の量が多いので、終えた時に達成感があります。

もらい、吸引や作業のサポートなどをしていただいています。長井市と那須建設のご理解ご配慮もあって、仕事の合間に訪問看護の方に導尿に来ていただいたり、訪問リハビリに入ってもらって、身体への負担を最小限にするようにして仕事をしています。仕事内容は事務関係が多く、会社が近いので担当の方が文書等を一式持って来て説明してくださいます。今はヒヤリハット事例をパソコンで入力し、図も描いたりしています。

■働いて、みんなを幸せに

入社して半年が経ちますが、予想以上に仕事をしてもらっているという、お褒めの言葉をいただきました。次は何をしようかおうちで考えるのが大変だと。働いて間もないですが、先日はボーナスも頂きました。初任給を頂いた時には家族にケーキを買ってくれて、ご馳走してくれたんです。お世話になった

放課後等デイサービスにお菓子を差し入れしたりして、初任給を使っていますね。最近では、仕事をしている時と余暇を区別したいという事で、お給料で洋服を買に行ったりしています。あまり物欲がなくて、周りの人と楽しく、周りの人の幸せを考えている感じですよ。

■余暇の過ごし方

仕事の他に週2日は生活介護事業所で、ペットボトルのラベルがしなごりサイクルに繋がることをしています。児童発達支援や放課後等デイサービスが一体化になっている施設なので、赤ちゃんから小さなお子さん、大人までいろんな方がいらっしゃって、賑やかな感じで過ごしています。娘はいつもニコニコしているの、小さなお子さんも「おねえちゃん」と寄ってきてくれて、先生のサポートでお子さんの面倒を見たり、一緒に遊んであげたりしています。休日は自分で電動車椅子を操作しながら

争奪 視点を変えてみたら

夫と共に行動しているような障害者と出会います。先日、全盲の方が「持つ」というのは自発的な行動。障害は自分から持ったりしない。それはあるだけだ」とおっしゃいました。この障害が「ある」のかそれとも「持つ」のかという問題は度々議論になりますね。また、別の障害者は「生まれ変わるなら健常者が良いかと言われれば答えはノー」と。理由は、「ちよっと上から目線だけど、健常者ってつまらないことで悩むよね」とのこと。つまらないことって何？「例えば、ヘルパーさんが障害者に言われたことに傷ついて、お給料をふいにしてまで仕事を辞めちゃうのって、障害があっても働けなくてお給料もらえない側からしたら、何だかなあ、もう少し強くなろうよ、障害の受容を求めらんだら、まずは自分の健常性を受容しなよって思う」との返事。障害故に上手く行かないことも多い身からすれば、学校も就職も結婚も上手く行っている健常者が、何を悩むことがあるのだと思ってしまう。因みに我が夫は若い頃入っていた障害者運動団体の影響を受けている為か、「僕自身は自分の身体を不便なものだとは思っているけれど、環境によって人間は発達していくものだから邪魔なものだとは思っていない。社会が障害者を邪魔だと感じさせないように変わればよいだけ。」この意見でした。人の真剣な悩みにつまるもつまらないも無いでしょうが、障害、健常に関わらず、視点を変えることが悩みを乗り越えるヒントになるのでは？と自分の「つまらない悩み」を振り返ったのでした。こもとゆみ(夫が1種1級の脳性麻痺)

Q: 趣味や好きなことはなんですか？  
A: (樹里さん) 刺し子です。中学生の時に担任の先生から教えてもらってできるようになりました。歌うことが大好きなので、いつもYouTubeを見て歌っています。今は「新しい学校のリーダーズ」が好きです。  
Q: これからしてみたいことは何ですか？  
A: (樹里さん) 一人でちよっと自由に出かけたり、買い物をしてみたい。道の駅に行きたいです。  
Q: 他のクライアントにメッセージはありますか？  
A: (樹里さん) みんなで楽しく笑顔で頑張りましょう。

広報・土づくりへのご意見・ご感想  
土屋グループの各種取組みについてのご意見や、当社介護サービスにおいて虐待や不当な身体拘束が疑われる場合がありますらご一報ください。ご意見・お問い合わせ窓口 client@care-tsuchiya.com  
土屋 発行元:株式会社土屋 住所:岡山県井原市井原町192番地2 久安セントラルビル2階